

# 農業技術センターニュース

VOL.1  
1993.2



## 農業技術センター発足1年

### 技術革新で農業に光を

広島県立農業技術センター所長 今井 基

農業技術センターは平成3年11月に改組、発足しました。

昨年、県内外や海外から600件1万人余りの皆さんにお越しいただき、研究状況や施設をご覧いただきました。皆さん方のご意見や情報を積極的に生かし研究を進めていくとともに、開かれた農業技術センターとして一層の努力をしたいと職員一同心を新たにしています。

農業技術センターは発足後、21世紀を展望した「技術開発戦略の5つの基本方針」を策定しました。①新しい品種作り ②広島型の技術開発 ③環境保全型技術の開発 ④農業・農村支援のための情報提供

⑤産学官の積極的な共同研究です。これらの方針に沿って具体的な成果を一つでも多く積み上げていくのが今後の私たちの目標です。

農業・農村は農産物の需給の面でも担い手の面でも厳しい局面に立たされています。私どもは技術革新によりこの暗いトンネルの向こうに灯を見出そうとしています。時代の要請に即した技術の開発に全力を投入しますので、皆様の絶大なご支援をお願いします。

紹介と現況をお知らせするニュースとしましたが試験研究に対するご意見をお寄せ下さい。

# 組織と研究分野の紹介

農業技術センター 東広島市八本松町原

〔0824-29-0521〕

## 〔総務部〕

総務課 庶務、会計など。

業務課 水稻等の原種生産、生産物管理。

〔専門技術員室〕 普及員指導と研究成果の伝達

## 〔企画情報部〕

農業情報のネットワーク作り、農業・農村の活性化情報、農業気象予報の作成。

## 〔作物研究部〕

水稻、麦、大豆、い草等の品種選定、栽培方法など。

## 〔園芸研究部〕

野菜及び花の作期作型別栽培法の開発及び良質、多収品種の選定。

## 〔環境研究部〕

施肥・土壌管理技術、作物栄養診断及び病害虫の生態解明、発生予察手法、防除手段の研究

※〔高冷地研究部〕 山県部大朝町大朝

〔082682-2047〕



高冷地帯の水稻・野菜等の良質、安定生産技術の開発。

※〔島しょ部研究部〕 因島市重井町

〔08452-5-0004〕



沿岸島しょ部における施設利用による野菜・花の高品質、安定生産技術の開発。

## 〔生物工学研究所〕

### 細胞工学研究室

バイオテクノロジーによる種苗の無病化と大量増殖、次世代バイオ技術の開発。

### 育種研究室

水稻、特産野菜・花、果樹、飼料作物の優良品種の育成。

※〔果樹研究所〕 豊田郡安芸津町三津

〔08464-5-1225〕



高品質果実の省力・低コスト安定生産技術、新品種の育成、快適な栽培管理技術の開発。

管理課 庶務、会計、生産物管理。

専門技術員室 普及指導（主として果樹関係）と研究成果の伝達。

### 常緑果樹研究室

温州ミカン、ビワなどを対象。

### 落葉果樹研究室

ブドウ・ナシ・モモ・カキなどを対象。

※〔柑橘研究室〕 三原市木原町〔0848-68-0131〕



ネーブルオレンジ・ハッサクなどを対象。

# 平成3年度の研究成果から

## ①地域農業気象予報スタート

気象庁の予報業務許可を受け、つぎのような地域農業気象の予報を提供しています。

- 1) 週間予報（火・金曜日）
- 2) 1か月予報（毎月 5日）
- 3) 3か月予報（毎月 25日）
- 4) 暖・寒候期予報（3月15日、10月25日）

作物に影響を与えると予想される場合には農作業メモを加えています。

## ②あなたの水田の土は硬くなっていませんか？

昭和56年、同61年及び平成3年の調査結果から、水田土壌の作土の深さが23、20、19cmへと年々浅くなり、土も硬くなっています。堆きゅう肥等の投入量は減少傾向にあり、施用農家の割合も36%から21%に減少しています。

各地域で工夫して、土作りをしましょう。

## ③早植えによる中生新千本の良質化

中南部地帯における現在の田植期は5月下旬～6月中旬ですが、これを約1か月早めることにより登熟期の日照条件が著しく良くなり、品質・食味・収量が向上します。

留意点として、成熟期後半は秋雨に遭遇しやすいので穂発芽に注意が必要です。

## ④穂発芽した年の種もみの腐敗防止対策

平成2年度の異常気象（9月中旬以降の長雨）による穂発芽で雑菌が繁殖して胚や胚乳が褐変し、障害種子が発生しました。このような障害種子は浸種中に腐敗し、その影響が健全種子にまでおよび、発芽率が著しく低下します。

塩水選は障害種子の除去に有効であり、さらにもみ枯細菌防除薬剤のスターナ水和剤400倍液の24時間浸種が有効です。この剤は馬鹿苗病防除薬剤との混用ができます。

## ⑤夏まきハウレンソウで「ピリカ」

### 秋どりブロッコリで「海嶺」を選定

8月まきのハウレンソウとして「ピリカ」が収量性、品質ともに優れ、耐病性、耐暑性もあります。

「海嶺」は7月31日まき、8月29日黒マルチに定植。収穫は10月下旬から始まり、収穫可能期間は3週間と長く、品質、収量共に優れた品種です。

## ⑥野菜のりん酸過剰障害と対策

ハウス栽培でりん酸の異常集積が問題となっています。過剰障害はマサ土で発現が大きく、キヌサヤエンドウでは生育初期から下葉の褐変がみられ減収します。ワケギは葉の先枯れ症状により品質が低下します。作付け前に、土壌中の可給態りん酸が100kg/10a以上あれば、りん酸は施さなくても栽培できます。

## ⑦トルコギキョウはゲル剤で直播栽培

本県中部地帯で5月上旬以降の移植栽培では、ロゼット化したり、生育が抑制されます。ゲル剤とともに播種することで、全株が開花し品質の良い切花が得られます。

## ⑧簡易換気装置で貯蔵カンキツの鮮度保持

中晩柑類は貯蔵中に粘性果の発生などにより品質低下がみられます。簡易換気貯蔵庫を試作、試験した結果、品質低下を防げることがわかりました。床はコンクリートで、攪拌用風道は壁際に設け、パレット下に吹き出す方式とします。換気、攪拌用の運転時間は果実5トンあたり換気扇は2～4時間、攪拌扇は2～3時間以上、1日2回程度を目標とし、タイマーで運転指令します。

## ⑨フリー球によるスカシユリ切花の品質向上

スカシユリをウィルスフリー化することに成功し、本郷町で種球を増殖しています。

以上は研究成果の1部です。詳しくは農業技術センター、農業改良普及所にお問合わせください。

## 《取り組んでいる研究》

### ①種苗の無病化と大量増殖技術の開発

ワケギ、食用ユリのフリー化に続き、スカシユリ、リンドウ、ヤマノイモ、アスパラガスの現地適応性を検討中。コンニャク、ヒロシマナ、エヒメアヤメ及びササユリ等も研究中。

### ②バイオ等による新品種育成

中南部向け水稻品種3系統の現地適応を試験中。さらに食味等の改善について研究中。

ヒロシマナ、ワケギ、キク、リンドウ、マーガレット、カンキツ等について新品種を育成中。

### ③生態調和型農業の研究

環境と生態系に調和した栽培法確立のための研究。シロイチモジヨトウに有効な核多角体病ウイルスの利用について現地試験中。

### ④カンキツの優良品種への改植支援技術

弱勢台木の選抜、育苗・成園化促進、品質向上のための土壌管理等について研究中。マルチ栽培の有利性、問題点も検討中。

## 5月までの、視察のポイント

本所（八本松）

§イチゴのNFT栽培状況

§カーネーションの品種比較、ピンチ法

§デルフィニウムの日長処理、栽培状況

§ムギの品種、栽培状況

§アスパラガスの冬期管理状況

§バイオによる培養、大量増殖

島しょ部研究部

§トルコギキョウ、キク、カスミソウ

§ファレノプシスなどの開花状況

§キヌサヤエンドウ、ステビアの栽培状況

視察・見学の申込みは

本所は企画情報部、支所は直接

## 《目指している研究分野》

### ①リモートセンシングによる水稻生育と病害虫の診断・予測技術の開発

人工衛星からの情報や写真を画像解析することにより水稻の生育や栄養状態の推定法の開発、病害虫の診断、さらに環境保全情報への応用技術を開発します。

この技術が確立すると病害虫防除は適期に、施肥時期や施肥量の情報はよりの確になります。

### ②成型苗及び根域制限栽培によるイチゴ、トマトの省力・高品質生産技術の開発

セル成型苗による省力育苗・安定生産技術の確立と根域制限栽培による生育制御・高品質果実生産技術の開発をします。

### ③ブドウとメロンを組み合わせた複合栽培システムの開発

根域制限ブドウ栽培を、可動式棚にすると棚下空間がとれ、メロン等との複合栽培が可能になります。ハウスの有効利用により、収益性を高める技術を開発します。

## 農業ジーンバンクからのお願い

広島特産や独自の作物・品種育成、あるいは特定地域の産物育成のために、県内で長年作られている遺伝資源の収集・保存は欠かせません。

県立農業技術センターに併設されている財団法人広島県農業ジーンバンクは植物の遺伝資源収集を行っています。自家採種を続けている作物や特徴のある果樹、花木などの所在情報を求めています。

御一報下さい

所在地は農業技術センターの敷地内です。

☎0824-29-2598

編集後記 「農業技術センターニュース」VoL.1  
をお送りします。  
センターに対するご意見、要望をお寄せください。

発行 県立農業技術センター  
〒739-01 東広島市八本松町原  
☎ 0824-29-0521 FAX 0824-29-0551